

【資料】

## 2009年～2010年の「むなかた電子博物館」

清水比呂之

2009年から2010年は、「むなかた電子博物館」にとって、重要な1年間であった。2005年4月に開館された博物館は、5年の歳月を経て、新たな挑戦と運営の継続というふたつの課題を抱えてきたといえる。

新たな挑戦という観点からは、今回の電子博物館の研究紀要第2号の発行と北斗の水くみ写真展実行委員会による第2回写真展開催があげられる。この二つの取り組みは、現在の電子博物館の活動の柱であり、むなかた電子博物館紀要（創刊号）は、2009年4月発行、第1回の写真展は、昨年度が初回であった。

運営という観点からは、15人の「むなかた電子博物館」市民パートナーが、「むなかた電子博物館」企画運営会議の中で、内容に関する議論を行い、市民パートナー自らが取材をしたり、コーナーを具体的につくりこんだりしている。さらに、北斗の水くみ写真展実行委員会、紀要委員会は、市民パートナーから、希望した委員により構成されている。

運営の継続にあわせて、電子博物館の訪問者の推移が、運営評価のひとつの指標になる。2005年5月開館以来、2009年12月までのアクセス件数は、62万5千件。年々、アクセス件数は増加しており、2009年の年間件数が、20万6千件に達している（図1）。

さらに、評価のための材料として、電子博物館の来館者に対し、ネットアンケートを2009年10月から開始した。本人の来館数、訪問のきっかけ、訪問目的、役に立ったページ、来館をきっかけに実際に出かけた場所・参加イベントなど、質問項目は9項目で、フェースシートとして、年齢・性別・居住地・職業・メールアドレスを任意記入とした。

ただし、このアンケートは開始以来、評価の分析に足りるほどの、回答数がまだ寄せられていないため、来館者に記入を促す工夫が必要である。アンケート結果を評価しながら、内容の充実に向けていくとともに、「電子博物館友の会」への発展を考えている。

電子博物館に対する意見だけでなく、電子博物館からの発信のためのツールとして利用できることが望ましい。電子博物館の企画に対する参加の呼びかけなど

が、行えたらいい。

今後、電子博物館が、一般的な来館者だけでなく、専門的な来館者が利用しやすい博物館として進化していくためには、相互リンクにより、研究者の専門的なサイトへと深化させていく提案がある。今回の座談会でも、博物館の発展のために、相互リンクの必要性が議論されている。

今後の展開としては、「21世紀デジタル時代の組織化」をテーマに、市民と博物館、あるいは、研究者同士を結びつけるネットワーク化が大切である。デジタルというツールを用いてのフラットな組織化は、まさに、電子博物館の目指す方向性ではないだろうか。

### ●2009年度（平成21年度）●

4月1日 「むなかた電子博物館」紀要 創刊号 発刊

4月27日 第1回 北斗の水くみ写真展実行委員会会議

- ・第1回「北斗の水くみ写真展」の反省
- ・第2回「北斗の水くみ写真展」の内容、スケジュールについて

5月28日 「ホタルの館」発 ホタル情報掲載開始。随時更新

6月9日 第1回 「むなかた電子博物館」企画運営会議

- ・今年度の事業計画について
- ・第2回「北斗の水くみ」写真展の実施について
- ・「むなかた電子博物館」紀要委員会の設置について
- ・ネットアンケートの実施について

7月1日～9月30日 北斗の水くみ写真展・写真募集

7月2日 「版画で見る 唐津街道 赤間宿・原町」公開

7月7日 第2回 北斗の水くみ写真展実行委員会会議

- ・撮影説明会について
- ・今後のスケジュールの確認

7月18日 北斗の水くみ写真展・撮影説明会 「道の駅むなかた」にて

8月7日 北斗の水くみ写真展・撮影説明会 大島七夕まつりにて

8月11日 「自然環境調査の報告書」掲載開始 随時更新

8月29日 北斗の水くみ写真展・撮影説明会 「道の駅むなかた」にて

9月26日 第2回 「むなかた電子博物館」企画運営会議

- ・第2回「北斗の水くみ」写真展の途中経過について
- ・田熊石畠遺跡のその後について
- ・さつき松原遺跡について
- ・ネットアンケートの実施について

- ・平成21年度の紀要委員会について
- 10月6日 第1回 紀要委員会
- ・座談会について
  - ・内容、テーマについて
  - ・スケジュールについて
- 10月7日 さつき松原遺跡視察、鐘崎民俗資料館視察
- 10月19日 ネットアンケート設置
- 10月21日 北斗の水くみ写真展・審査委員会 10月26日記事掲載
- 12月4日 宗像最古の縄文遺跡発見！－さつき松原遺跡の調査から①記事掲載
- 1月6日 田熊石畠遺跡から緊急レポート（活用編）③④記事掲載
- 1月8日 第2回 紀要委員会
- ・目次について
  - ・スケジュールについて
- 1月8日 大島民具資料館視察
- 1月20日 縄文時代の海岸線を探る！～さつき松原遺跡の調査から②～記事記載
- 3月3日 第3回 「むなかた電子博物館」企画運営会議

#### 「むなかた電子博物館」市民パートナー 平成21年4月～平成22年3月

- 名前 (所属名)
- 石井 忠 (古賀市立歴史資料館 館長)
- 伊津 信之介 (東海大学福岡短期大学 教授)
- 岡部 海都 (日本野鳥の会福岡支部会員)
- 鎌田 隆徳 (自由ヶ丘南小学校教頭)
- 河田 昭 (市民公募)
- 中村 茂徳 (西南女学院大学講師)
- 平井 正則 (福岡教育大学名誉教授)
- 平松 秋子 (宗像歴史を学ぼう会メンバー)
- 堀内 伸太郎 (市民公募)
- 吉田 義男 (元宗像市史編纂室室長)
- 白木 英敏 (市民活動推進課)
- 西谷 尚子 (教育政策課)
- 占部 晃 (情報政策課)
- 清水 比呂之 (情報政策課)
- 上田 めぐみ (情報政策課)